

マルワリードⅡ、全線で盛大に植樹

カマ第二堰、良好に増水期を経過

こちらはもう強烈な夏の陽ざしで、夜間でも室内気温は 27℃から下がることはありません。この一年、絶対的な少雨でしたが、先週から 2 日間、断続的に雨が降りました。河川の水が増え、計画地域内は安泰です。

以下、簡単に各計画の進行をお伝えします。

1. マルワリードⅡ（カチャラ堰）；主幹水路 4.9 kmは開通、タラン分水路 1350m も開通、ベラ分水路 750m のうち 400m 地点をライニング中。調節池Ⅳと同部の強化堤防を造成中。用水路全線で盛大な植樹を行っている。ただし、終点の仕上げは、小麦収穫後。
2. カマ第二堰；増水期の様子を観察中。ほぼ想定通りの流れ。
3. 訓練計画；4 月中に第 1 グループ（PMS 職員）への説明を終え、第 2 グループ（地域指導者、ミラバーンなど）のクラスが始まる。職員の中には、今回の計画で初めて計画の全容を理解した者が多かった。訓練所の土地問題、土地管理局のサイン待ち。
4. ガンベリ排水路の仕上げ；各村の意見調整中。場合によっては延期。
5. ガンベリ PMS 農場のフェンス；实际的でなく計画見直し中。

「訓練計画」の思わぬ成果は、地域を挙げて灌漑と取水堰の大切さが知れ渡るようになり、維持の関心が高まったことです。来週からは公的筋も交えて、クラスが継続されます。中央の理解も進み、受講を希望する声が増えています。

今週は猛烈な砂嵐が荒れて、撮影できませんでした。カマ第二堰のものだけをお伝えします。流れは上々です。タイミングよく工事が行われてカマの全住民が喜んでます。テクノ社の樋口さんがこの堰の模型を作っているの、出来上がったら皆でご覧ください。

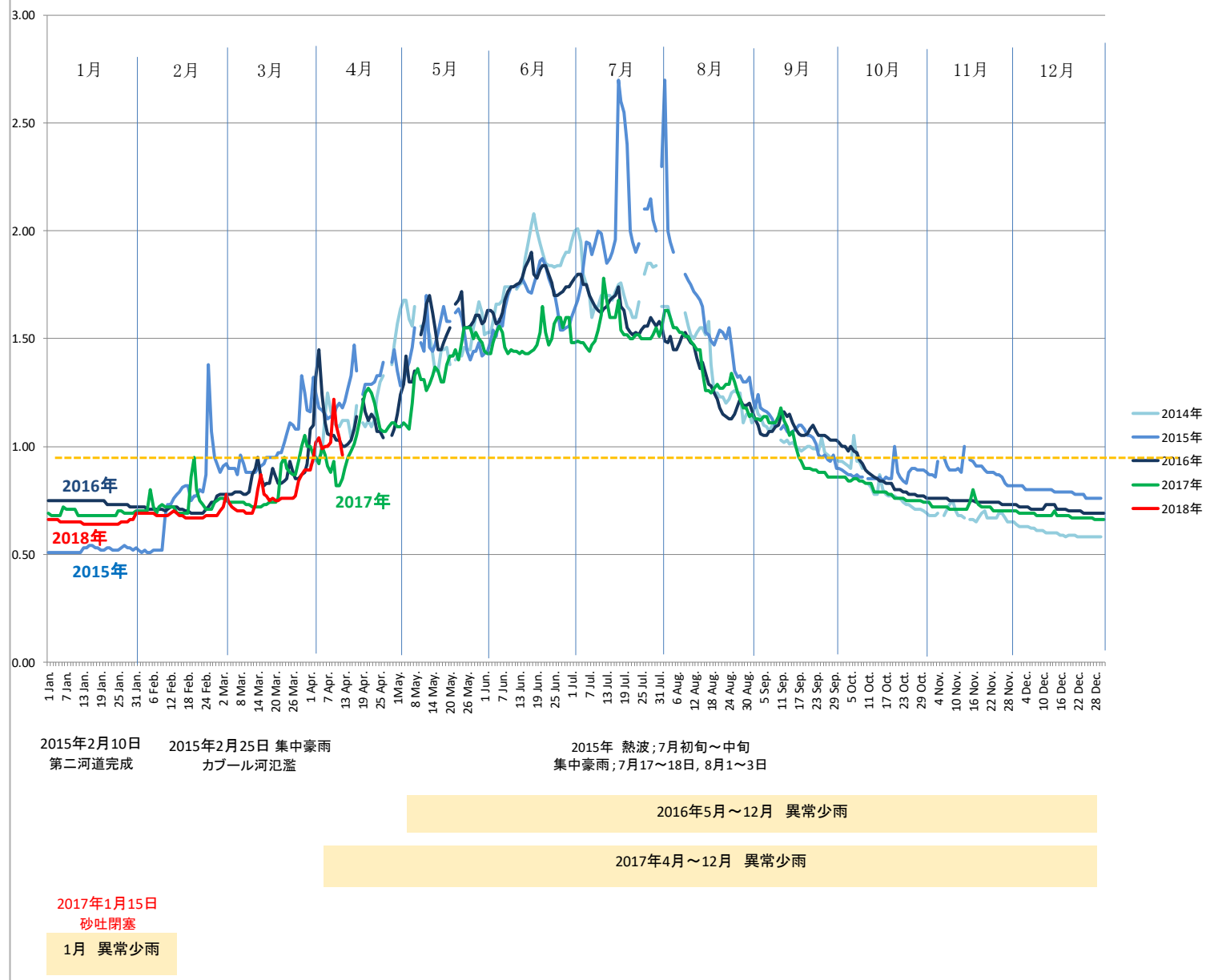
PMS 作業地は安泰でも、ジャララバード南部、スピングル山脈方面は気の毒です。ロダット、アチン、ソルフロッド何れも小麦が全滅しました。おまけに戦火です。河川水は全体に減少気味の印象ですが、測量を繰り返して確認しています。訓練クラスとマルワリードⅡの様子は、次回お伝えいたします。

2018 年 4 月 14 日 記

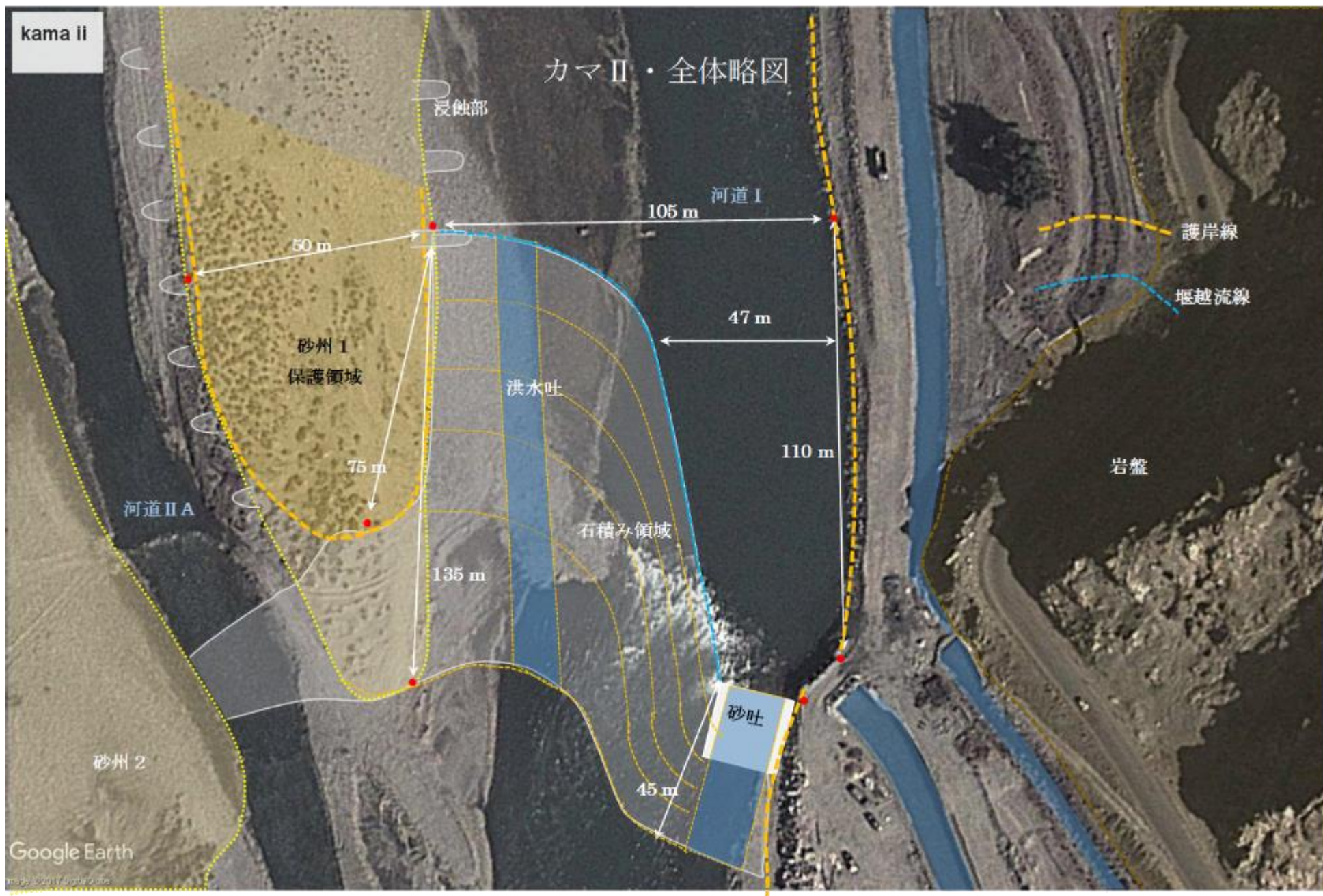
マルワリード堰水位変化。4月の降雨で河川水が倍増したが、2017年（緑の線）に続き、依然として低水位傾向が続いている。カマ橋の測量地点で、2月21日=75.71 m³/sec, 3月7日=81.62 m³/sec, 3月15日= 206.26 m³/sec, (洪水), 3月21日=81.62 m³/sec, 3月28日=100.40 m³/sec。洪水流を除けば異常減少といえる。

引き続き動向を注視中。

マルワリード堰年間水位変化



カマ第二堰略図。等高線で傾斜を示す。石張り面積約 1100 m²、砂州側に緩やかな傾斜を取り、対岸を保護する。越流幅は約 200m。先の報告通り。



増水期に入ったカマ第二堰。水門から上流を望む。全体に水門側が急流で水量も多く、対岸側が比較的穏やかに流れるよう工夫してある。2018年4月12日



堰体全体を示す。水門前の水位（水門床からの水深）は 1.4m、堰体前縁の高さ（水門床からの高さ）0.9m、理屈の上では越流直前の水深 0.5m で、堰体は流速と反比例して水深が浅くなる。測量は不可能。砂吐きの流速は水位 1.2m で毎秒 4m 前後、流量 30 m³。現在は 50 m³に迫ると思われる。2018 年 4 月 12 日



対岸から洪水吐上流側を示す。砂吐き（傾斜 0.6/45）に比べて傾斜 0.6/135、比較的緩やかな流れで岸辺を傷めない。2018 年 4 月 12 日

